

バドミントン YONEXZAWA

平成十一年三月二十日 発行 VOL15 第10号

全国小学生

バドミントン選手権

大会に参加して

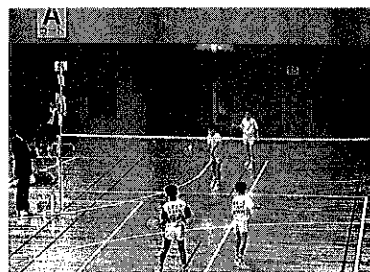
長井バドミントンスポーツ少年団

鈴木 一 則

十月十二、十三日、広島市で行われた全国大会に、五年以下男子ダブルスと六年男子ダブルスの二組が出場してきました。個人戦では、初めての全国大会で、スポ少レベルでの全国大会は夢のようなことと思っていましたので、子供達にとつての経験とともに、私たち指導の立場にいるものにとり、またとない勉強の機会で、大変喜んだところで。

この大会の予選は、県学年別選手権のベスト4が東北小学生大会に出場し、そこでのベスト4が全国大会へ出場となります。東北大会の代表に、本県からは毎年4組前後の出場のようですが、今回は他に六年男子ダブルス、六年女子ダブルス、シングルの各一組の合計九人が出場権を獲得しました。東北大会では宮城がだんトツのレベルで、岩手、福島、山形がどっこの

という感じです。宮城県の各ジュニアチームは、常時全国大会を目指しています。選手が目標の違いが大きいにあり、試合の意気込みが違います。



大会前日、広島市への向かう途中は大変天気が良く、新幹線から富士山がくっきり見え大変感激しましたが、約八時間の道のりは疲れ、全国大会も毎回では大変だなどというのが本音です。当日、会場の県立総合体育館（グリーンアリーナ）で開会式前に練習がありました。十六面のコート、館全体が大きな楕円形、コートによつては感覚がまるっきり違う感じとともに、全国からの選手が練習する様に、子供達は自分を見失っているような様子でした。指導者もいろいろで、大声でかなり強烈な指導をする方もいて圧倒されましたが、練習内容などはあまり違いがないようでした。ラケットワークに工夫をしたり、フェ

イントやスピネットを平然とやっていく選手が結構見受けられ大変驚きました。

五〇〇人余りの全国からの代表選手による開会式のあと、ゲームに入りましたが、選手は選手集会所に集合し、主審、線審とともに入場します。県内の小学生大会ではしていないことなので、子供たちはますます緊張してしまつたようです。試合は五年以下男子ダブルス安部・長谷川組が東京小平ジュニアと対戦しました。相手は、若葉カッパ全国小学生大会（団体戦）の優勝メンバー。六年男子ダブルスの鈴木・嶋貫ペアは近畿地区三位の奈良県代表。お互いのペアとも、ラリーになるのですが勝負を焦り、先にミスをするという連続で、内容以上に得点差が開いた試合で敗れました。単発的なショットだけではなかなか得点にならないということを感じました。

山形県の代表は、惜しい試合もありましたが全て初戦で敗れました。全体的にラリーを辛抱するキープ力がないこと、チャンスをつくる素早い動きや読みが見劣りしていました。つまり、プレーが受け身のままゲームが流れて

しまつて、攻守ともシャトルの下に素早く入るスピードが足りず、余裕をもつたショットが打てていないと感じました。

県協会でもバドミントン王国復活を目指しジュニア連盟を立上げましたが、近年全国大会に出場した県内のスポ少の指導者の間では、全国レベルに五年は遅れているというのが共通認識です。今年の結果もそれを表しています。当然、中学、高校でも同様なことだと思いますが、全国に近づくためには、ジュニアから一歩づつその差を詰めて行くしかないと考えます。しかし、県内のジュニアはほとんど単一のスポ少により育成されており、それにも限界があるようです。全国上位の九州、四国、北陸はジュニアクラブの育成とともに、指導者の充実にも力を入れているそうです。地区協会としても是非議論されることを望みます。



第6回山形県少年少女スポーツ少年団交流大会 バドミントン競技

●期日 平成10年10月4日

●場所 県立天童高校体育館

●少年男子 Aブロック

第2位

長井バドミントンスポーツ少年団

●少年女子 Dブロック

第2位

白鷹ジュニアバドミントンスクール

●少年女子 Fブロック

第3位

長井バドミントンスポーツ少年団

第4回東北小学生バドミントン大会兼第7回全国小学生バドミントン大会東北地区予選会

●期日 平成10年10月24、25日

●場所 多賀城市総合体育館

●6年男子ダブルス

第3位

鈴木 渉・嶋貫 拓也
(長井バドスポ少)

●6年男子シングルス

2回戦

安部 和也

●5年男子ダブルス

第3位

安部 博士・長谷川圭太
(長井バドスポ少)

●5年男子シングルス

1回戦

我妻 弘一・小池 敬太
(米沢南部バドスポ少)

●5年男子シングルス

2回戦

鈴木 康之
(米沢南部バドスポ少)

●5年女子ダブルス

2回戦

高梨 江美・鈴木 碧
(米沢南部バドスポ少)

●5年女子シングルス

ベスト8

鈴木 希
(長井バドスポ少)

第13回米沢少年少女バドミントンスポーツ交流大会

●期日 平成10年11月3日

●場所 置賜生涯学習プラザ

●男子シングルス

第1位 菅間 敦 (白鷹ジュニア)

第2位 鈴木 康之 (米沢南部)

第3位 嶋貫 拓也 (長井)

第3位 安部 和也 (長井)

●男子ダブルス

第1位 鈴木 渉・嶋貫 拓也
(長井)

第2位 鈴木 康之・渡部 和也
(米沢南部)

第3位 安部 和也・鈴木 亮平
(長井)

第3位 菅間 敦・布施 和也
(白鷹ジュニア)

●女子シングルス

第1位 鈴木 希 (長井)

第2位 高石 麻衣 (長井)

第3位 鈴木 碧 (米沢南部)

第3位 土屋美由貴 (白鷹ジュニア)

●女子ダブルス

第1位 高石 麻衣・鈴木 希
(長井)

第2位 土屋美由貴・岡田 華葉
(白鷹ジュニア)

第2位 高石 麻衣・鈴木 希
(長井)

第3位 土屋美由貴・岡田 華葉
(白鷹ジュニア)

第3位 菅間 敦・布施 和也
(白鷹ジュニア)

第3位 鈴木 亮平
(長井)

第3位 鈴木 希
(長井)

第15回山形県バドミントンスポーツ少年団交流大会

●期日 平成10年11月23日

●場所 鶴岡市小真木原総合体育館

●女子ダブルス

ベスト8 高石 麻衣・鈴木 希
(長井バドスポ少)

●女子5年以下ダブルス

第3位 高梨 江美・鈴木 碧
(米沢南部バドスポ少)

●女子シングルス

ベスト8 鈴木 希
(長井バドスポ少)

●男子ダブルス

第3位 鈴木 渉・嶋貫 拓也
(長井バドスポ少)

●男子5年以下ダブルス

第2位 渡部 和也・鈴木 康之
(米沢南部バドスポ少)

第3位 我妻 弘一・小池 敬太
(米沢南部バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

ベスト8 安部 博士・長谷川圭太
(長井バドスポ少)

第7回全国小学生バドミントン選手権大会

●期日 平成10年12月12日、13日

●場所 広島市広島県立総合体育館

●5年以下男子ダブルス

1回戦 安部 博士・長谷川圭太
(長井バドスポ少) 出場

●6年男子ダブルス

1回戦 鈴木 渉・嶋貫 拓也
(長井バドスポ少) 出場

●4年男子シングルス

第1位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 長谷川圭太
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 碧
(米沢南部バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第3位 鈴木 希
(長井バドスポ少)

第19回

東北中学校バドミントン大会

■期日 平成10年8月7～9日

■場所 岩手県営体育館

●女子シングルス

第2位 山口美鋭子(米三中)

第28回 全国中学生大会

■期日 平成10年8月22～25日

■場所 宮城県仙台市

●女子シングルス

1回戦 山口美鋭子1-2佐々木亜美(米三中)

山口美鋭子1-2佐々木亜美(米三中)

第17回全日本ジュニア選手権大会

■期日 平成10年9月15～17日

■場所 埼玉県上尾市

●男子シングルス

1回戦 佐藤 一人1-2高木 洋平(米二中)

佐藤 一人1-2高木 洋平(米二中)

米沢市中学校新人戦大会

■期日 平成10年9月19日

■場所 南原中学校体育館

種目	優勝	2位	3位	3位
男子シングルス	佐藤 一人(米二中)	大境 勝行(米二中)	伊井 信義(米二中)	高橋 嘉貞(米二中)
男子ダブルス	佐藤 一人(米二中)	大境 勝行(米二中)	伊井 信義(米二中)	高橋 嘉貞(米二中)
女子シングルス	山口美鋭子(米三中)	鹿間 幸恵(米二中)	渡部 仁美(米二中)	伊藤 梓(米二中)
女子ダブルス	渡部 仁美(米二中)	鹿間 幸恵(米二中)	伊藤 梓(米二中)	伊藤 梓(米二中)

第25回 県中学校新人戦大会

●男子団体戦 3位 米二中

●男子シングルス

第3位 佐藤 一人(米二中)

●男子ダブルス

第3位 伊井 信義・大境 勝行(米二中)

●女子シングルス

ベスト8 山口美鋭子(米三中)

置賜地区高校新人大会

■期日 平成10年9月19～20日

■場所 米沢工業高校

種目	優勝	2位	3位	4位
男子団体	米沢工業	米沢商業	長井	米沢興譲館
女子団体	米沢商業	米沢興譲館	米沢女子	長井
男子シングルス	浅香 治郎(米工)	横山 貴広(米工)	近 大輔(米工)	中村 充宏(米工)
男子ダブルス	中村 充宏(米工)	浅香 治郎(米工)	佐藤 大輔(米工)	井上 大祐(米興)
女子シングルス	尾形 英子(米東)	桑原ゆかり(米商)	大境 瞳(米商)	高橋香代子(米興)
女子ダブルス	桑原ゆかり(米商)	大境 瞳(米商)	清水佳菜子(米興)	尾形 英子(米東)

地区高校1年生大会

■期日 平成10年10月18日

■場所 米沢東高校体育館

種目	優勝	2位	3位	3又は4位
男子団体	米沢工業	長井工業	南陽	米沢東
女子団体	米沢女子	米沢商業	興譲館	長井
男子単	羽生 弘樹(米工定)	渡部 真也(米工)	香坂 道孝(米工)	安部 浩平(米工)
女子単	尾形 英子(米東)	伊井 浩子(米商)	片平 真伊(米女)	清井 寿恵(米東)

県高校新人大会

■期日 平成10年11月7日～8日

■場所 山形商業高校体育館

●男子団体

ベスト8 米沢工業

出場 米沢商業・興譲館

●女子団体

出場 米沢商業・興譲館

第8回 地区高校団体選手権

■期日 平成10年11月15日

■場所 米沢工業高校体育館

●男子団体

チェリーボーイズ(米工) 優勝

E11mc2(長井) 第二位

ビーチボーイズ(米工) 第三位

興譲館 第三位

●女子団体

ミチ知美ていむ(米商) 優勝

米女YMEM(米女) 第二位

興譲 A 第三位

米沢東 第三位

第5回 ジャワ杯県1年生大会

■期日 平成10年11月22日

■場所 新庄南高校体育館

●男子団体

ベスト8 長井工業

出場 長井工業・米沢東

●女子団体

出場 長井・米沢女子

第25回 東北総体

■期日 平成10年8月27日～30日

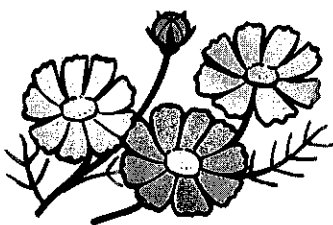
■場所 岩手県

●青年男子シングルス

ベスト8 石沢 良則

●青年男子ダブルス

出場 神保 一寿



地区対抗総合順位

1位	南部	119点	9位	愛宕	21点
2位	東部	88点	10位	三沢	20点
3位	万世	59点	11位	西部	19点
4位	中部	53点	12位	窪田	13点
5位	南原	44点	13位	松川	10点
6位	北部	34点	14位	山上	8点
7位	上郷	32点	15位	田沢	5点
8位	広橋	30点			

第30回 市民総合体育大会
バドミントン競技

■期日 平成10年8月30日
■場所 米沢市営体育会

男子シングルス	優勝	2位	3位	3位	3位
神保 一寿 (上郷)	井上 繁 (東部)	藤川 芳久 (東部)	小関 勝也 (南部)	勝也 (南部)	
男子ダブルス	優勝	2位	3位	3位	3位
白石 敬明 (中部)	山口 正徳 (西武)	横山 久洋 (窪田)	坂野 功 (愛宕)	功 (愛宕)	
男子シングルス	優勝	2位	3位	3位	3位
鹿野 昭男 (南部)	吉川 賢一 (南原)	高橋 祐介 (東部)	鈴木 元 (三沢)	元 (三沢)	
男子ダブルス	優勝	2位	3位	3位	3位
近藤 雄一 (南部)	中沢 正幸 (中沢)	鈴木 秀幸 (三沢)	高橋 直之 (東部)	直之 (東部)	
男子シングルス	優勝	2位	3位	3位	3位
山崎 良樹 (西武)	中沢 正幸 (中沢)	鈴木 秀幸 (三沢)	高橋 直之 (東部)	直之 (東部)	
男子ダブルス	優勝	2位	3位	3位	3位
近藤 雄一 (南部)	中沢 正幸 (中沢)	鈴木 秀幸 (三沢)	高橋 直之 (東部)	直之 (東部)	
男子シングルス	優勝	2位	3位	3位	3位
青木 政太郎 (南原)	下坂 健二 (南原)	西村 真一 (萬世)	斎藤 石谷 (愛宕)	石谷 (愛宕)	
男子ダブルス	優勝	2位	3位	3位	3位
我妻 崇子 (山崎)	片山 育子 (愛宕)	藤川 芳久 (東部)	小関 勝也 (南部)	勝也 (南部)	
女子シングルス	優勝	2位	3位	3位	3位
須藤 澄子 (長瀬)	川崎 清子 (南原)	菅原 麻由 (愛宕)	鈴木 恵美子 (伊藤)	恵美子 (伊藤)	
女子ダブルス	優勝	2位	3位	3位	3位
石山 和歌子 (水岡)	吉田 由起 (南原)	種部 亜希 (東部)	藤川 芳久 (東部)	芳久 (東部)	
女子シングルス	優勝	2位	3位	3位	3位
永岡 裕子 (松沢)	小形 和恵 (東部)	菅野 陽子 (山崎)	渡部 美智子 (近田)	美智子 (近田)	
女子ダブルス	優勝	2位	3位	3位	3位
鈴木 波部 (南部)	東部 和也 (南部)	小池 敬太 (佐藤)	佐藤 亮介 (加藤)	亮介 (加藤)	
男子シングルス	優勝	2位	3位	3位	3位
高梨 江美 (高橋)	安部 美希 (高橋)	加藤 愛香 (高橋)	中野 良子 (中野)	良子 (中野)	
男子ダブルス	優勝	2位	3位	3位	3位
高梨 江美 (高橋)	安部 美希 (高橋)	加藤 愛香 (高橋)	中野 良子 (中野)	良子 (中野)	

第18回 米沢地区新人ナイターリーグ成績表

■期日 平成10年9月6日
~10月18日

部	順位	チーム名	最優秀選手
一部	1	いぶし銀とNEW	鏡 由美子
	2	ブレイズ4	(いぶし銀とNEW)
	3	ベテラン南部	
	4	九星会	
	5	復活ガイナース	
二部	1	玉やんずA	佐藤 孝志
	2	南部ファイターズ	(玉やんずA)
	3	アイリス♥ハニー	
	4	九星会	
	5	万世2	
	6	米沢市役所A	
	7	ユニバース	
	8	サウスフィールド	
三部	1	はくら南部少年団	鈴木 博美
	2	シリコンA	(はくら南部少年団)
	3	鶴羽根混っ伏ず	
	4	日立米沢電子	
	5	アイリス	
四部	1	松川バドミントン	神田 愛子
	2	東部バドミントン	(松川バドミントン)
	3	米沢市役所B	
	4	玉やんずB	
	5	興譲小バド愛好会	
五部	1	万世5	我妻 珠恵
	2	三沢	(万世5)
	3	南原	
	4	松川ファイターズ	
	5	ハスルクラブ	
	6	J.A山形おきたま	
六部	1	NEC米沢	島貴 光浩
	2	フレッシュ松川	(NEC米沢)
	3	シリコンB	
	4	米工がけっ	
	5	山上バド愛好会	
	6	サンシャイン	
	7	万世6	
	8	玉やんずC	
	9	南部一型式X	
	10	藤山クラブ	
	11	米沢養護学校	

第41回 全日本社会人大会

■期日 平成10年9月12日~15日
■場所 熊本県八代市

男子シングルス

一回戦
神保 一寿 0-2 太田 慎二

男子ダブルス

神保 一寿 0-2 中嶋 遠藤
保樹 0-2 石嶺

第11回 NTT家庭婦人大会

■期日 平成10年9月13日
■場所 NTT山形体育館

男子シングルス

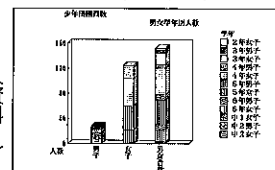
一部 アイリスA 優勝
二部 東北大会 出場
三部 アイリスB 二位
マリーゴールドB 優勝

シリーズ ジュニア育成を考える ②

各少年団のアンケート結果から
前号の広報誌に、理事長の種部寛彰氏より、ジュニア育成について提言をいただいた。今回はその提言を受け、各少年団に、ジュニア育成についてのアンケートをお願いした。

まず、資料一をご覧いただきたい。置賜地区の少年団の団員数は、男子が二十八人と少ないものの、全体では一五三名を数えている。学年別では、少年団の入団条件とかかわってか、小学三年から小学六年が多くなっている。また中学生で活動している子が四名いる。置賜にも、将来が期待できる可能性のある子ども達がこれだけいるのである。

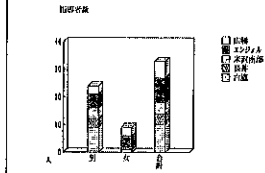
これに対し、指導者は、全体で三十三名いる。うち、競技経験者は、三十名である。数字だけで見ていくと、全体では、一人の指導者が、四三人の子どもを教えることになる。



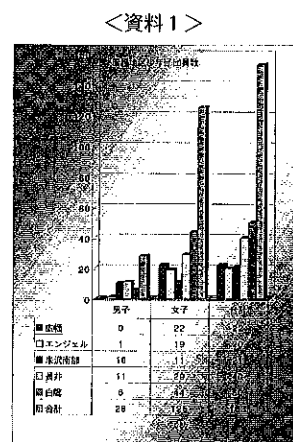
＜資料2＞

各少年団では、週一〜二回、二時間、二時間半の練習が行われている。しかし、指導者からの実状の中に、指導員を確保したいとあり、大変さがうかがわれる。

また、少年団の活動の一番の目標は、子ども達の心身の健全育成であるが、それだけではなく、大会で活躍させたいという願いを指導者も親も持っている。全国レベルで見れば、活躍しているブレイヤーが、スポーツ少



＜資料3＞



＜資料1＞

年団から始め、継続している現状もある。スポーツ少年団とジュニア育成を分けて考え、スポーツ少年団では、底辺の拡大を図り、ジュニア育成では強化を行ってはどうかという意見も出された。

指導者からの要望としては、地区で、指導者の質的向上を図るための講習会を開催してほしい。・スポーツの合同練習会や年一回開催されている大会を、数回増やし、子ども達の練習にも目標を持たせたい。などが挙げられている。この点については、スポーツ少年団委員会や指導普及委員会を中心として事業を企画する等、協会としての取り組みができるのではないかとと思われる。

また、中学校の問題もある。スポーツバドミントンを始めても、中学校に部活が無いために、他の部活に入ってしまう、高校につながるしないこと、スポーツの子どもの達にとって中学校にバドミントン部がないと、先の目標が定められないことなどの指摘もあった。三年後には完全週休二日制になることもふまえ、中学生の受け入れ、指導についても、これから協会として、どう取り組んでいくか、果たす役割は大きいと思う。(情野 登志子)

第5回 東北家庭婦人大会

■期日 平成10年10月4日
■場所 青森県弘前市

■一部 米沢アイリス 四位

50周年記念 県シニアバドミントン選手権

■期日 平成10年9月20日
■場所 山形県総合運動公園メインアリーナ

■男子20歳ダブルス

優勝 嵐田 芳輝 (山形)

神保 一寿 (米沢)

■男子30歳ダブルス

三位 白幡 広司 (米沢)

皆川 若久 (米沢)

■男子50歳ダブルス

三位 近藤 健二 (米沢)

尾形 健明 (米沢)

四位 神足 俊二 (米沢)

仁科 盛信 (米沢)

■男子55歳ダブルス

優勝 渡部 二雄 (山形)

鹿野 昭男 (米沢)

■女子20歳ダブルス

三位 我妻 栄子 (米沢)

鈴木 育子 (米沢)

■女子40歳ダブルス

二位 佐藤 典子 (米沢)

川崎 清子 (米沢)

■女子50歳ダブルス

優勝 永岡 秀子 (米沢)

遠藤 暁子 (鶴岡)

第6回 山形県スポーツ・レクリエーション

■期日 平成10年10月18日
■場所 新庄市体育館

■40歳男子Aダブルス

三位 安部 弘・板垣 博

■50歳混合Bダブルス

一位 近藤 健二・永岡 秀子

二位 尾形 健明・磯部 幾子

第8回 全国都市職員バドミントン大会

■期日 平成10年11月20日～22日
■場所 仙台市営体育館

■一般女子ダブルス

三位 須藤 真弓・菅原麻由美

第6回 国体記念県愛好者大会

■Cクラス

三位 南部クラブ

第2回 Y T S 杯

■期日 平成10年11月29日

■場所 天童市

■親子ダブルス 男親

優勝 鈴木 一則・希組

(長井バド)

■親子ダブルス 女親

優勝 鈴木 正子・渉組

(長井バド)

家庭婦人委員会の活動について

私たち家庭婦人委員会は、須藤澄子委員長を始め、家庭を持つ女性七名で構成しております。バドミントンを愛する女性の技術のレベルアップはもちろん、バドミントンを通じて交友を深め、バドミントンの輪が広がっていくことを目的として活動しています。

十年度の主な活動といたしましては、家庭婦人講習会を六月と九月の二回行い、一月にレディース大会を行いました。

一回目の講習会は、六月八日(月)に米工体育館にて二十五名の参加を頂き、バドミントンの基礎となる「フットワーク」を重点的に行いました。次の日、筋肉痛で大変だったという方が多かったのではないのでしょうか。決して楽しい練習ではありませんが、本来一番の基礎となる重要な練習なので、是非、積極的に練習に取り入れてマスターして頂きたいと思っております。

二回目は、九月五日(日)に同じく米工体育館にて、参加人数二十七名で行いました。この時は実践的な練習ということで、女性ではなかなか難しい「バックハンドストローク」に挑戦しました。A Bクラスはハイバック、C Dクラスはバックでネット前に返す方法を、基礎打ちから始まり、ダブルスの実戦を交えて御指導頂きました。参加者の皆様から、「大変良かった」との声多数お聞きすることができ、委員会としても大変満足できた講習会となりました。

この二回の講習会で怪我人も無く、無事終了することができ、本当に良かったと思っております。ここで学んだことを普段の練習に取り入れ、実践に生かして頂ければ幸いです。この度の講習会に御協力下さい

ました米工の先生方、御指導下さいました指導普及委員会の方々に心から感謝申し上げます。

毎年恒例になっております、「米沢レディース大会」も十四回目を迎え、参加人数も年々増加しております。今回は一月二十四日(日)に米沢市営体育館にて参加人数六十四名で行われました。冬期間、しかも一番寒さの厳しい時期という悪条件にもかかわらず、長井、南陽地区からも多くの参加を頂き、関係者一同大変感激しております。寒さにもめげず、各クラス激戦に次ぐ激戦で手応え、見応えのある大会となりました。この大会の様子は、一部NCVに放映になりました。御覧になられた方も多いのではないのでしょうか。次年度は、もう少し暖かい季節にと考えておりますので、今まで以上の多数の参加をお待ちしております。

最後に、私たち委員会のメンバーは、家庭婦人でもあり職業婦人でもあるが、活動もなかなか思う様になりませんが、女性とは限らず、バドミントンを愛する仲間のために、今後も大会や講習会等をできるだけ行っていくと考えております。皆様の御意見を参考に、より実のある活動にしていきたいと思っておりますので、今後共、皆様の御協力を宜しくお願い申し上げます。

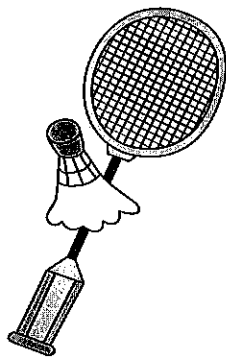


第28回置賜バドミントン選手権大会

種目	優勝	2位	3位	3位
1部男子シングルス	石井 良則 (鶴岡工業)	神保 一寿 (ヤングス)	小関 勝也 (ヤングス)	近藤 雄一 (ヤングス)
1部女子シングルス	山口美鋭子 (米沢三中)	鈴木 育子 (ニノミヤ)	高野 朋 (アイリス)	井上めぐみ (東部)
2部男子シングルス	奥山 長也 (南部)	遠藤 富男 (南部)	近藤 健二 (南部)	鈴木 元 (山形県立)
2部女子シングルス	山口美鋭子 (米沢三中)	片平 真伊 (米女)	金田江里子 (鶴岡工業)	鈴木 希 (長井スギ)
1部男子ダブルス	神保 一寿 渡部 智仁 (ヤングス)	近藤 洋二 石沢 良則 (ヤングス)	近藤 雄一 中沢 正幸 (東部)	梅津 孝広 海部 智博 (東部)
1部女子ダブルス	我妻 栄子 鈴木 育子 (協同薬品)	鈴木 美子 高野 朋 (アイリス)	山口 朝子 山口美鋭子 (山形県立)	井上めぐみ 吉田さち子 (米工)
2部男子ダブルス	大沼 昇 鈴木 敏広 (玉やんず)	横山 友男 (九星会)	遠藤 貴広 相田 広之 (米沢市役所)	井上 次夫 飯坂 博 (九星会)
2部女子ダブルス	河井 節子 金田江里子 (ハッスル)	永岡 秀子 松澤 順子 (東部)	澤田美恵子 我妻 珠恵 (万世)	堀内きみ子 須藤 誠子 (東部)

第30回置賜地区社会人大会

種目	優勝	2位	3位	3位
Aダブルス男子	吉原 広司 (東部)	山川 良樹 (シリコン)	藤部 孝広 (東部)	中沢 正幸 (九星会)
Aダブルス女子	鈴木 芳久 (東部)	中本 貴博 (中越工務)	遠藤 富男 (南部)	鈴木 希 (九星会)
Bダブルス男子	鈴木 芳久 (アイリス)	我妻 栄子 (協同薬品)	鈴木 智子 (ニノミヤ)	近藤 雄一 (南部)
Bダブルス女子	松橋 範幸 (米沢市役所)	高橋 聡 (山形県立)	松本 宏志 (山形県立)	近藤 雄一 (南部)
Cダブルス男子	長岡 秀子 (アイリス)	青木美保子 (東部)	手塚さよ子 (アイリス)	山口 朝子 (山形県立)
Cダブルス女子	佐藤 典子 (アイリス)	長沢ひとみ (東部)	山口 朝子 (アイリス)	吉田 由起 (南原)
Dダブルス男子	尾形 健明 (南部)	横山 友男 (九星会)	神足 俊二 (南部)	近藤 雄一 (南部)
Dダブルス女子	西原 裕子 (南部)	板垣 博 (九星会)	金田江里子 (青部)	我妻 珠恵 (万世)
Eダブルス男子	永岡 裕子 (松川)	澤田美恵子 (万世)	我妻 珠恵 (アイリス)	川合裕美子 (米沢市役所)
Eダブルス女子	山崎孝次郎 (松川)	下垣 隆雄 (南原)	我妻 津来 飯坂 博 (東部)	川合裕美子 (米沢市役所)
Fダブルス男子	後藤 徹 (松川)	山崎孝次郎 (松川)	飯坂 博 (東部)	川合裕美子 (米沢市役所)
Fダブルス女子	安部 紀子 (九星会)	小池 順子 (米沢市役所)	鈴木真知子 (山形県立)	青木三枝子 (山形県立)



第14回 レディスバドミントン大会

種目	優勝	2位	3位	3位
女子Aクラス	我妻 栄子 (南原)	井上めぐみ (東部)	青木美保子 (アイリス)	山口 朝子 (アイリス)
女子Bクラス	佐藤 典子 (アイリス)	鈴木美恵子 (アイリス)	山口 朝子 (アイリス)	手塚さよ子 (アイリス)
女子Cクラス	猪俣 陽子 (ハッスル)	堀内きみ子 (松川)	松沢 順子 (東部)	中村 秀子 (南陽バド)
女子Dクラス	須貝貴美子 (玉やんず)	村上 雪枝 (南部)	玉田友紀子 (玉やんず)	梅津 孝広 (東部)

第4回 CDクラスダブルス選手権大会

種目	優勝	2位	3位	3位
Cクラス	大沼 昇 (玉やんず)	安部 弘 (南部)	古内 康賢 (万世)	近藤 健二 (南部)
Dクラス	鈴木 敏広 (玉やんず)	神足 俊二 (南部)	我妻 典典 (万世)	四釜 繁 (南部)

第9回 県混合ダブルス大会

種目	優勝	2位	3位
一部	神保 一寿・神田真里子	近藤 雄一・高野 朋	
二部	小関 勝也・佐藤 典子		
三部	山口 正雄・山口美鋭子		

☆期待の星

神保一さん

今回は県総体、東北総体で活躍した神保一寿さんです。



神保一さんにインタビュー

プロフィール

生年月日・一九七四年十二月二十八日 (24才)

身長・一六八 cm
体重・六十六 kg
血液型・B型

二、経歴

上郷中

米沢工業高

山形ケンウッド

サンマリナ玉庭、他いろいろ

米沢養護学校

三、主な大会成績

高校時代 東北高校大会

現在 全日本社会人大会

複三十二位

Q1. 一番印象に残っている試合とその理由は？

高校三年生の東北大会の団体戦で弘前工業と対戦した時の試合。自分は第3シングルスだったが、みんなの期待を裏切り、セットカウント二対一で惜しくも負けてしまい、ベスト8だった。この試合でベスト4以内に入れば、団体戦のメンバー全員に大学からの誘いがくる予定だったため。

Q2. これからの夢は？

全日本チャンピオン

Q3. 好きな言葉は？

努力

Q4. 好きなタイプは？

なにことも一所懸命やっている人。理想像としては、深田恭子

Q5. 好きな食べ物？

ラーメン(特にみそチャーシュー)

Q6. 好きな遊びは？

川西食堂がうまい!!

Q7. 休日は何をしていますか？

パチスロ・パチンコ

Q8. おすすめの店は？

鶴岡の金太郎ずし(安くてうまい)

Q9. いきつけの店は？

パチンコダイワ

Q10. 結婚はいつごろしたい？

30歳ごろ

南陽市民バドミントン

教室を指導して

皆川 芳久

去る、平成十年九月五日より、平成十年十月三十一日までの土曜日、合計八回に渡り、南陽市民バドミントン教室の講師を南陽市民体育館の方より依頼され、種部寛彰氏、情野登志子氏と私の三人で、講習会を行ってまいりました。

土曜日の夜七時から九時までで、二時間という短い時間ではありましたが、種部氏より講習会内容のメニューを組んで頂き、「南陽市民バドミントン教室」指導に臨みました。

バドミントン教室への申込者の総人数は四十一名で、一般初心者から競技経験者、高校のバドミントン部員まで、幅広いレベルで参加されていて、当初八つのグループに分けての指導が始まったわけですが、

初月の開講式が行われた後、さっそく講習会を行い、体操、ストレッチ、ランニング、トレーニングと入っていったのです。参加者の皆さんも、常々シャトル打ちをやっても、ランニング、トレーニングはあまり縁が無いとみえて、少し疲れたみたいでした。講習会の回数が進むにつれて、だんだんと慣れて下さった様に見えましたが、やはり最後まで、トレーニングに関しては、あまり好きになつて頂けなかった様に思えます。

ですが、スポーツ講習会を御自分で「受講する」と決められた方々ばかりですので、一生懸命頑張っている姿は、とても美しく思いました。

ランニング、トレーニングはスポーツの基本ですからね。

一連の指導の中で、グリップの握り、スイング、フットワークとある訳ですが、そ

の技術の中でも、昨今、違いがあつて、「自分達が高校生の時に習った技術とは変わった」という様な御話しをする往年のプレイヤーも、少なからず御出になつていました。

合計八回、約二ヶ月という講習会日程でしたので、必ず毎回参加出来るという方は少なかった様ですが、回数を重ねるたびに、初心者の方は上手になつていきまし、又、かつてプレーをやっていた方については、勘を取り戻されていく様が随所に見られ、講習会内容の的確さを、改めて私も感じ、種部氏の総メニューの緻密さに感嘆した次第です。

南陽市にも、三つ程のバドミントンのグループがあるという事で、週一回の練習をグループ毎に行っている様で、この南陽市民バドミントン教室を機会に、交流を深め、バドミントン愛好者を数多く増して頂き、かつて盛んだつた南陽バドミントン協会の復興の為に、頑張つてほしいものだと思います。

又、最後になりましたが、今回の講習会にあたり、御世話頂いた方々に御礼を申し上げて、南陽市民バドミントン教室の報告とします。



果てしなき

チャレンジヤーの夢舞台

神保 寿一

平成十年九月十一日、十五日、熊本県八代市で全日本社会人大会が行われ、山形県より、自分を含め四人の選手が出場した。

選手として大会参加権を獲得できたのは、平成十年七月十日、十二日に行われた、県国体予選会のときで、自分はからくも、単・複共に第三位入賞を果たし、県のコーチより参加を認められたものだった。

全日本社会人大会という以前、福島県白河市で行われたときに出場しただけで、それ以来ずっと出場したいという気持ちで練習に励んできた。その大会の成績は、単一回戦、複四回戦まで進んだが、日本の壁はとて厚く、良いゲームすらさせてもらえなかった記憶がのこっていた。

そのくやしい思いを打ち負かすかのよう、個人練習、合宿練習と次々にトレーニング及び白球を追い、今回の大会までにピークを持つて行く段階まで進まっていた。出発のときが来た。自分自身、不安と期待を心に秘め、いざ八代の地へと足を踏み入れた。

その瞬間、「なんとという暑さだ。これではバテしてしまうのでは？」と不安ばかりが先行してしまっていた。

我々四人が旅館に着き、ゆっくりする間もなく監督会議のあるホテルへと足を進め、それが終わると再び旅館に戻り、自分達それぞれのペースで試合への緊張を高めていった。

試合当日、開会式が終了し、ダブルスの試合が次々と行なわれていった。そして、自分達の一回戦の出番がやってきた。パートナー（遠藤保樹）と少々乱打をしながら



体を作り、対戦相手を確認したら、楽勝かもという過剰な自信が出ていた。ダブルオールブレイクしかし、数打交わして行くうちに、ゲームの流れが自分達にこないまま一セットを失い、続く二セットも二人共空回り0-2と完敗だった。即席ペアだったため、いとも簡単に全力を出しきれないまま対戦相手にねじふせられた。

次の日、シングルスが行われ、いよいよ自分の試合。相手は前々体会のチャンピオン。自分の力が試されるときがきたのだ。ダブルオールブレイク昨日とは、気持ちの違い、動ける自信があつた。得意とするショットが次々に決まり、10-8とリード、本当に球が走っていた。だが相手は、幾度となく修羅場を歩んできた強者、気合が入つてきて自分の息も上がり、10-15と逆転され、続くセットも手がつけられず、0-15と誰から見ても惨敗であった。

結果は、山形県選手は皆一・二回戦で敗退に終わった。そして八代の地を離れるとき、来年もこの地でプレーし、必ず日本の壁を破ることを心に誓った。

今年は成年男子フリー参加。目標は日本一、そう決めてから八年。これから、心・体・技の成長を求め努力します。

最後に、大会参加にあたってたくさんの人より協力していただいて、本当に感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。

九星会

それは九人の仲間から始まった

九里幼稚園の「体育の夕べ」でバドミントンを取り入れたところ、他のスポーツに親しんでいた父兄が、おもしろいスポーツだということで始めたクラブです。会名も簡単に決まり、母体である女子高体育館を使える強みもありました。それから十四年、設立当時のメンバーは少なくなりましたが、口込みで入会する人が多く、いつでも約十名位の会員が週一回プレーしています。若い人も次々と入会しています。

会の特徴を言うと、自由、楽しくスポーツをすることです。マレーシアの留学生等も顔を見せることもあり、世界が広がる場ともなっています。六コートありますので、もつと多くの人が

集まってはいいものと思っております。

水曜日午後七時から、今度男女共学となる九里学園高校体育館に来て下さい。最後に米沢バドミントン協会があり、種々の大会に参加することができ、感謝しております。発展を祈っております。



長井バドミントン

スポーツ少年団

昭和六二年に発足し、現在は、男子十名、女子二十八名、中学生四名の団員がいる。最初、県大会ではなかなか勝てなかった。四年前に五年生女子シングルスで優勝することができた。勝てたことで自分たちの指導が間違いないでなかったことがわかり自信がついた。今年は、五年生以下ダブルスと六年生ダブルスで全国大会へ出場する機会を得た。大会では得点もあまり取れず負けたが、全国全国大会を経験したこと、来年こそは、一勝したいという目標を持てた。全国のレベルもわかり、指導の方法も考えてまた来年挑戦していく意欲もわいてきた。

現在練習は、週三回ほど行っている。

上達しているが、大会にでると実力を発揮できない子が多い。フットワークを試合で生かせない。単調な攻めが多くなるなど課題は多い。しかし、試合を重ねて勝てる喜びや負けた悔しさを経験しながら団員とともに新たな目標に向かって頑張っている。

(代表 安部俊之)



米沢バドミントン協会

創立五十周年記念事業開催

米沢バドミントン協会が、創立五十周年を迎え、平成十一年度は、記念事業が開催されます。

初めに開催されるのは、かつて日本代表としてオリンピックでも活躍し、現在では、テレビでも活躍中の陣内貴美子さんを迎えての、バドミントン講習会です。五月二十九日(土)の二時より、市体育館で行われます。詳しいことは、後ほどお知らせいたしますので、多数ご参加下さい。

記念大会も開催されます。七月二十日(火)には「うこぎ姫バドミントン大会」が、南陽市営体育館で行われます。こちらはレディースの大会です。また九月五日(日)には、MIXの大会が米沢工業で行われます。ふるってご参加下さい。

また、記念祝賀会が、ナイターリーグの閉会式に合わせて行われます。日程は、決まりしだいお知らせいたします。祝賀会の席では、米沢バドミントン協会旗も紹介される予定です。祝賀会に合わせて創立五十周年記念誌も発行されます。現在編集に入っておりますが、こちらは一冊千円ぐらいで販売する予定です。会員の皆様に、ぜひ購入をお願いしたいと思います。皆様の力で、記念事業を成功させましょう。ご協力よろしくお願い致します。

お願い

各地区及び、クラブ代表、各委員会委員長の方、お忙しい中ですが、先にお願ひ致しました原稿を、六月七日(月)までに提出お願ひ致します。写真も、原稿といっしょにお願ひ致します。

主な大会・会議予定 (3月以降米沢地区で行われる大会及び会議)

日程	大会及び会議名	会場
3/28	第10回 OKITAMA OPEN	米沢東高校
4/25	市民体育祭春一番MIX大会	南原小学校
5/8~5/9	春季地区高校総体	米沢工業高校
5/16	第23回 県総合選手権	米沢市体育館
5/9~6/27	第13回 BSL米沢愛好者大会	米沢市体育館
5/23・5/30	地区高校強化練習会	米沢東高校
5/29	地区50周年記念講習会	米沢市体育館
6/7	地区家庭婦人講習会	米沢工業高校
6/19~6/20	第37回県高校定時制・通信制大会	米沢工業高校
7/4	第48回 あやめ大会	長井南中・長井高校
7/20	第1回 うこぎバドミントンフェスティバル	南陽市体育館
7/24~7/26	第39回 県中学生総体	米沢工業高校・米沢一中
8/7~9/12	第19回 米沢ナイターリーグ	米沢市体育館
8/30	米沢市民総体	米沢市体育館

編集後記

平成十年度も終わろうとしています。皆様にとつていかがな年でしたでしょうか。私共、広報委員会としては、今回も、皆様の、数多くの御活躍を報告できましたこと、大変うれしく思っております。

『自分達の活動を知ってほしい』、『自分の名前・写真を載せたい』等、バドミントンを愛する人々のため様々な御要望に御応えしていきたいと思っておりますので、資料提供等、御協力よろしくお願い致します。

来年度の目玉は、な・な・なんと「陣内貴美子氏」がやってくる、五月の特別講習会です。次号に乞う御期待!!

